説明書 No.SQ 0504-090121

Suiden

万能型クリーナー

掃 除 小 僧

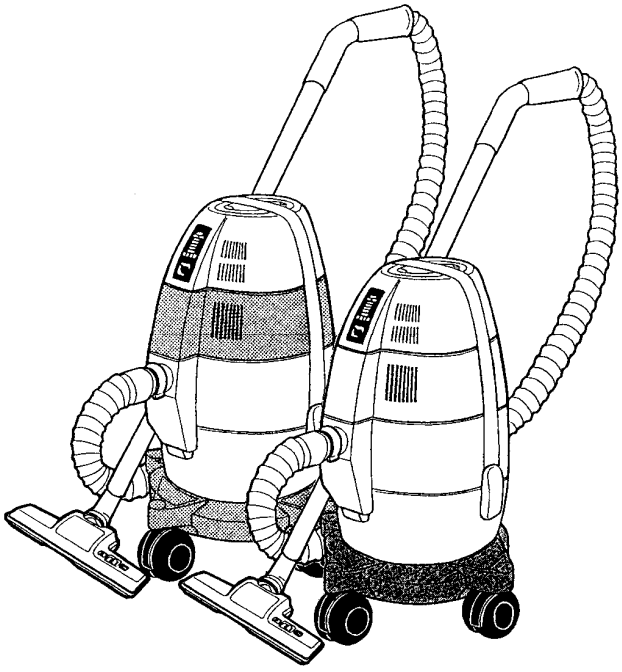
SQ-K101A

一般清掃型クリーナー

クリーンエアリー

SQ-K101SC

# 取扱説明書



もくじ


| | | |
|---|---|---|
| 1 | 安全のために必ずお守りください…… | 1 |
| 2 | 仕様…… | 3 |
| 3 | 各部の名称と付属品…… | 4 |
| 4 | ご使用方法…… | 5 |
| | 1. φ38－25Ｔ型ノズルの組立方法 …… | 5 |
| | 2. 段付きノズル…… | 5 |
| | 3. 本体とホース・ノズルの接続…… | 5 |
| | 4. 電源コードの接続…… | 6 |
| | 5. スイッチ…… | 6 |
| | 6. 風量調節リング…… | 7 |
| | 7. タンクの着脱方法…… | 7 |
| | 8. タンク用ポリ袋の装着とゴミ処理…… | 8 |
| | 9. フロートの調整…… | 9 |
| | 10. パイプとホースの清掃…… | 9 |
| | 11. フィルターの保守…… | 9 |
| | 12. 上手なご使用方法…… | 11 |
| 5 | 安全のための点検のお願い…… | 12 |
| 6 | こんなときは（故障かな？と思ったら）…… | 13 |
| 7 | アフターサービスと保証について…… | 15 |
| ＊ | アフターサービスのお申し込みについて… | 15 |


**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。**
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈 Suiden スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

本機は防爆構造ではありません

株式会社スイデン

# 1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠警告・⚠注意の2つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

**⚠警告：** 取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

**⚠注意：** 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

**注記：** 警告・注意以外の情報を示します。

| | | |
|---|---|---|
| 絵表示の例 | | △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。<br>図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意） |
| | | ⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。<br>図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止） |
| | | ●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。<br>図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースを接地する） |

## ●製品仕様への注意事項

| ⚠ 注 意 | |
|---|---|
| ⃠ 決められた製品仕様以外で使用しない。<br>＊品番SQ-K101Aは万能型、SQ-K101SCは粉じん専用型です。<br>仕様範囲外で使うと、漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。 | |

## ●搬入・移動上の注意事項

| ⚠ 注 意 | |
|---|---|
| ● 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。<br>＊落下・破損などによりケガの原因になります。 | ● 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。<br>＊腰を痛める原因になります。 |

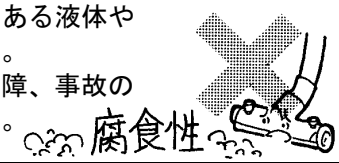
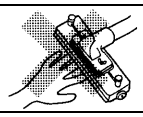
## ●試運転・運転の際の注意事項

| ⚠ 警 告 | |
|---|---|
| ● 定格 15A以上のコンセントを単独で使用する。<br>＊他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。 | ● アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。<br>＊故障や漏電、静電気が発生したときに感電する恐れがあります。 |
| ⃠ 濡れた手で、差込みプラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。<br>＊感電やケガの恐れがあります。 | ⃠ 本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。<br>＊ショートや感電、火災の原因になります。 |
| ⃠ ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト（石綿）類を含んだ粉じんなど、人体に有害なものを吸引しない。<br>＊環境汚染・健康障害につながる危険性があります。 | |

## ⚠ 警　告

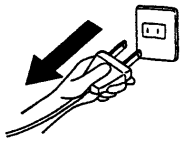
| | |
|---|---|
| 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くで使用しない。<br>＊爆発したり、火災の原因になります。 | アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内で使用しない。<br>＊爆発したり、火災の原因になります。 |

## ⚠ 注　意

| | |
|---|---|
| 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。<br>＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。 | パイプやホースに吸引物などが詰まったり、フロートが上がって吸引が止まったときは、すぐにスイッチを切る。<br>＊モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。 |
| 交流100V以外で使用しない。<br>＊感電やショートして発火することがあります。 | 電源コード先端のアースクリップでアースを取る。特に、床に水気のある所では必ずアースを取る。<br>＊アースがないと、感電の危険があります。 |
| 排気口やモータ冷却口などを、ふさいだ状態で吸引運転をしない。<br>＊モータの温度上昇により火災や事故が発生する可能性があります。本体上部のスリットが排気口および冷却口になっています。電源コードを巻きつけた状態で使用したり、雑巾やウエスなどをのせたまま使用しないでください。 | 浮遊粉じんの多い雰囲気で使用しない。<br>＊モータ冷却口側からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。 |
| | 補助フィルターを取外した状態で、液体の吸引は絶対にしない。<br>＊故障や排気口からの液体噴出などを原因とする事故の原因になります。 |
| 塩素系切削油がミストや油煙化した雰囲気内で使用しない。<br>＊樹脂部品に付着すると化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。 | 温度の高い（40℃を越える）場所で使用しない。<br>＊火災の原因になります。<br>使用雰囲気温度範囲は0℃～40℃です。 |
| | 湿度の高い場所で使用しない。<br>＊感電・火災・故障の原因になります。<br>雰囲気湿度80%以下でご使用ください。 |
| 屋外の雨水のかかる場所で使用しない。<br>＊絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。 | 火気に近づけない。<br>＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。 |
| シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、火のついたたばこの吸いがら、熱を持った物質などは吸引しない。<br>＊爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。 | セメント粉、合成樹脂粉など固化するものや、金属粉、カーボン粉など導電性の微粉じん、薬品などを吸引しない。<br>＊感電やショートして発火することがあります。 |
| 海水など腐食性のある液体や粉体は吸引しない。<br>＊モータ焼損や故障、事故の原因になります。<br>  | 泡立つものは吸引しない。<br>＊泡でフロートが正常に動作しない場合があり、オーバーフローすると排気口より泡があふれて漏電したり、着衣が汚れる危険があります。また、モータ故障の原因になります。 |
| クリーナーを移動するときは、グリップを持って動かす。<br>＊電源コードやホースを引っ張って本機を移動すると、電源コードやホースが破損し、火災・感電・汚染事故の原因になります。 | 横倒しでの使用は絶対にしない。<br>液体の吸引中・吸引後は、本機を横に倒さない。<br>＊液体などが吹きこぼれる恐れがあります。また、モータ焼損や故障、事故の原因になります。 |
| ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。<br>＊ホース破損による汚損事故の原因になります。 | 吸込口に手や指を入れない。<br>＊ケガの原因になります。<br>  |
| 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。<br>＊感電やショートして発火することがあります。 | 延長コードは、適切なものを選んで使用する。<br>＊延長コードが容量不足な場合、発熱して火災の危険があります。 |

| ⚠ 注 意 | |
|---|---|
| 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。<br>＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。 | 電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。<br>＊コードが発熱して火災の恐れがあります。必ず伸ばした状態で使用してください。 |
| 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。<br>＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。<br> | 電源プラグにピンやゴミを付着させない。<br>＊感電やショートして発火することがあります。<br>電源コードに重い物をのせたり、挟み込まない。<br>＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。 |
| 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。<br>＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。 | 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。<br>＊感電やショートして発火することがあります。 |

## ●保守・点検の際の注意事項■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

| ⚠ 注 意 | |
|---|---|
| 修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。<br>＊発火したり異常動作をすることがあります。 | お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。<br>＊感電やケガをする恐れがあります。<br>  |
| フィルターの洗浄にシンナー液を使用するときは、火気を近づけない。<br>＊火災や事故の危険性があります。 | フィルターの洗浄にシンナー液を使用するときは、換気を充分にする。<br>＊シンナー中毒になる危険性があります。 |

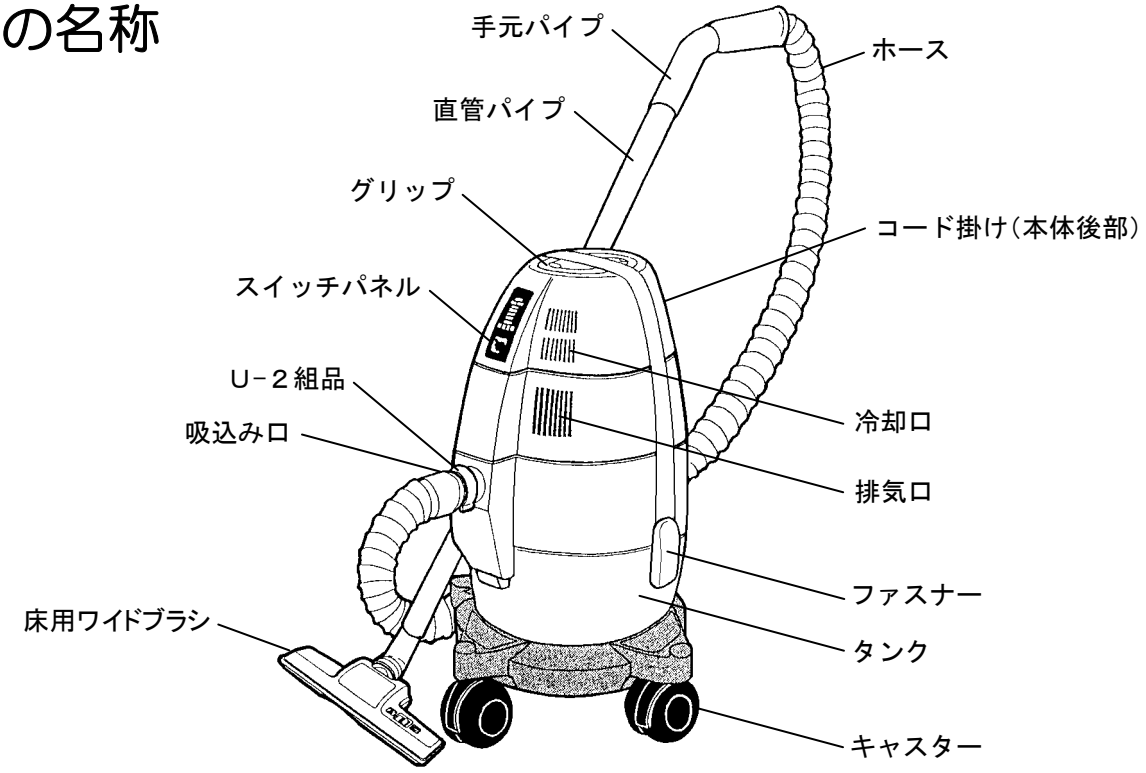
# 2 仕様

| 吸引能力 | 《万能型》 | | 《粉じん専用型》 | |
|---|---|---|---|---|
| 品名 | 掃除小僧 | | クリーンエアリー | |
| 品番 | SQ-K101A | | SQ-K101SC | |
| 電源 | 100V | | 100V | |
| 吸引力切替 | 強 | 弱 | 強 | 弱 |
| 電流 | 11A | 7A | 11A | 7A |
| 消費電力 | 1010W | 600W | 1010W | 600W |
| 最大風量 | 2.9m$^3$/min | 2.4m$^3$/min | 2.9m$^3$/min | 2.4m$^3$/min |
| 最大真空圧 | 20.6kPa | 13.7kPa | 20.6kPa | 13.7kPa |
| フィルター面積 | 0．65m$^2$ | | 0．46m$^2$ | |
| タンク実容量 | 11.5L（液体7L）※合計量を吸引できるわけではありません | | 11.5L | |
| ホース | 径φ38×長さ2m | | 径φ38×長さ1.7m | |
| 電源コード | 長さ8m(アースクリップ付き) | | 長さ8m(アースクリップ付き) | |
| 本体寸法 | 幅430×奥行き420×高さ560mm | | 幅430×奥行き420×高さ560mm | |
| 質量 | 11kg（本体のみ 9.1kg） | | 11kg（本体のみ 9.1kg） | |
| 水量感知 | フロート：自動停止装置内蔵 | | なし | |
| 備考 | 《強・弱》２スピード方式．電動ちりおとし装置内蔵(30秒タイマー付き) | | | |

注記 ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
②質量には、ホース、直管パイプ、床用ワイドブラシを含みます。

# 3 各部の名称と付属品

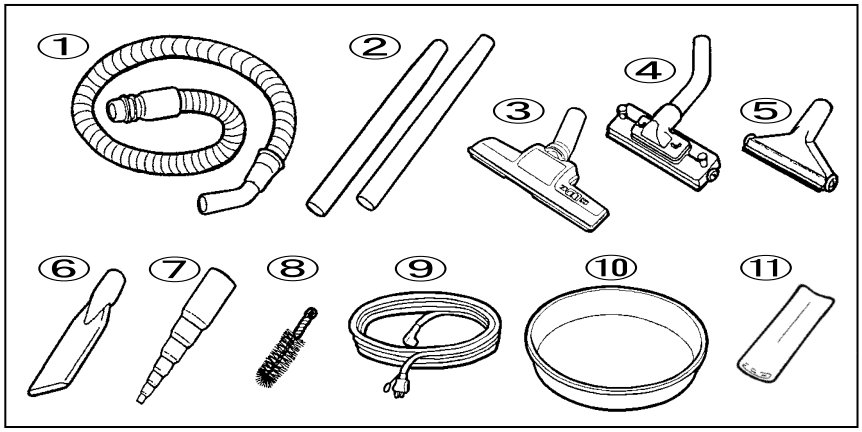
## 各部の名称




## 付属品

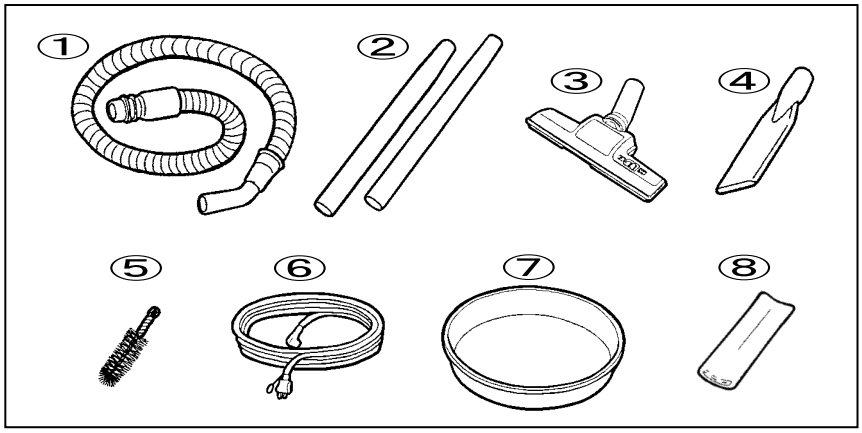
《SQ-K101A》

①φ38ホース（長さ2m）・・・・１　本
②直管パイプ・・・・・・・・・・・・・・２本組
③床用ワイドブラシ・・・・・・・・１　個
④φ38－25Ｔ型ノズル・・・・１　個
⑤φ38－20水切ノズル・・・・１　個
⑥φ38スキマノズル大・・・・・１　個
⑦段付きノズル・・・・・・・・・・・・１　個
⑧パイプ掃除ブラシ・・・・・・・・１　個
⑨電源コード（長さ8m）・・・・・１　本
⑩ステーショントレイ・・・・・・１　個
⑪ポリ袋・・・・・・・・・・・・・・・・・・５　枚




《SQ-K101SC》

①φ38ホース（長さ1.7m）・・１　本
②直管パイプ・・・・・・・・・・・・・・２本組
③床用ワイドブラシ・・・・・・・・１　個
④φ38スキマノズル大・・・・・１　個
⑤パイプ掃除ブラシ・・・・・・・・１　個
⑥電源コード（長さ8m）・・・・・１　本
⑦ステーショントレイ・・・・・・１　個
⑧ポリ袋・・・・・・・・・・・・・・・・・・５　枚



# 4 ご使用方法

**安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。**

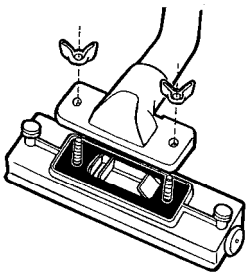
## 1. φ３８－２５Ｔ型ノズルの組立方法 （SQ-K101A 専用付属品）

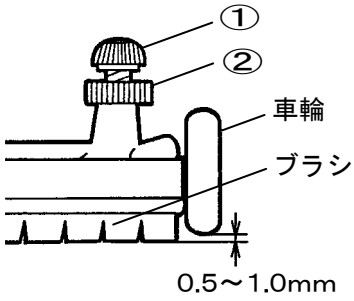
右図のように組立ててください。

ノズルの組立てが終わったら②のナットをゆるめて、①のネジで車輪がブラシより０．５～１．０mm高い位置になるように車輪の高さを調整してください。

最後にもう一度②のナットを締めなおします。

注記 床面とブラシの間隔が広すぎると吸引力の低下につながりますので、使用途中でもときどき調整してください。

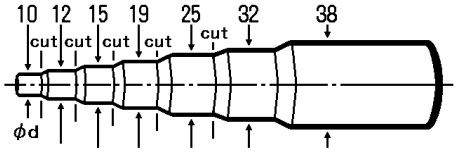





## 2. 段付きノズル （SQ-K101A専用付属品）

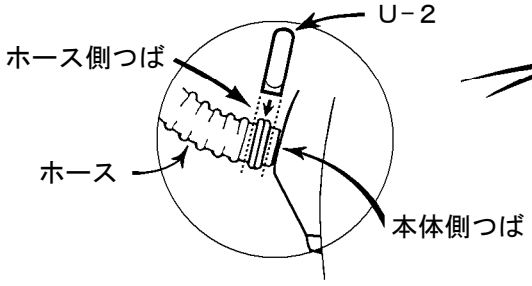
使用状況に合わせて直径φｄを選んで切り落とし、先端にビニールホースまたはゴムホースなどを装着してご使用ください。

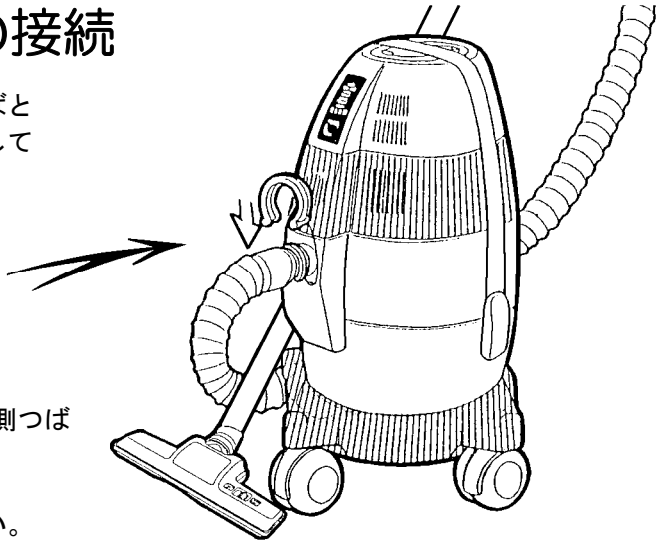
〔φｄ＝10･12･15･19･25･32･38mmのいずれか〕




## 3. 本体とホース・ノズルの接続

① ホースを本体側に差込み、Ｕ－２を本体側のつばとホース側のつばの両方にかぶせるようにセットしてください。



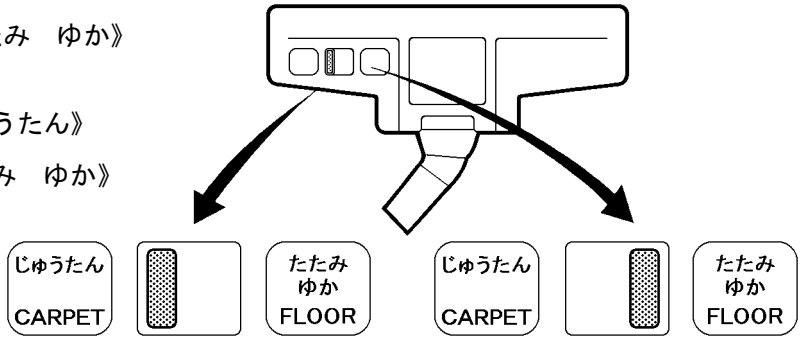
② 吸引対象物に応じて、ノズルを選択してください。

### ■■床用ワイドブラシのご使用方法■■

お掃除する場所により、《じゅうたん⇔たたみ　ゆか》切替レバーを切替えてご使用ください。

●じゅうたんなどの清掃は……《じゅうたん》

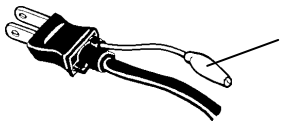
●たたみやフロアなどの清掃は……《たたみ　ゆか》

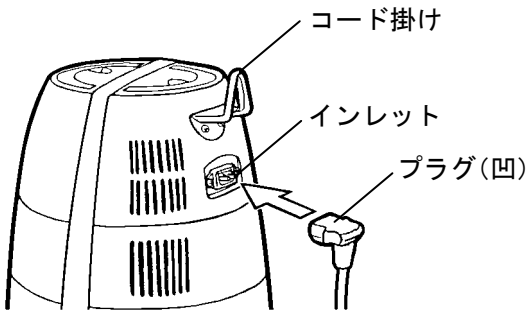


# 4. 電源コードの接続

① 電源コードのプラグ（凹）を本体上部のインレットへ差込みます。

② 電源コードの差込みプラグを100Ｖのコンセントへ差込みます。
アースクリップでアースを接地してください。



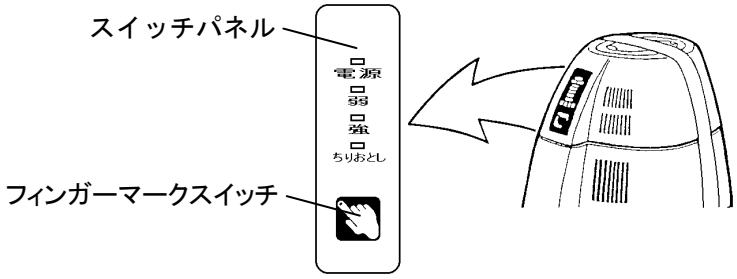

③ おそうじが終了したら、感電事故防止のため、電源プラグをコンセントから必ず抜き、ねじれのないように束ねて、コード掛けに吊るして保管してください。

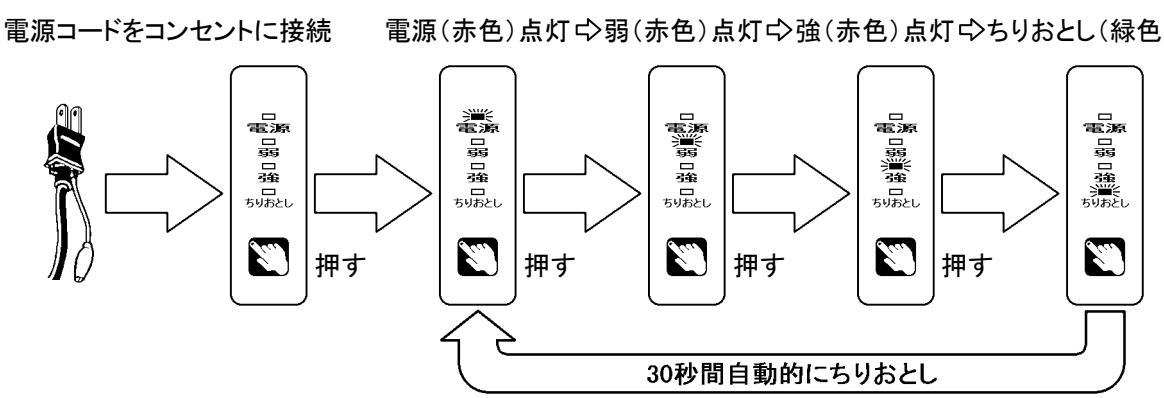
# 5. スイッチ

① 本機ヘッド部前面にスイッチパネルが配置してあります。

② フィンガーマークスイッチを押すだけで、下記のように操作ができます。

●電源の「入」
⇩
●吸引力「弱」
⇩
●吸引力「強」
⇩
●自動ちりおとし装置作動(30秒間)




## ■■自動ちりおとし装置とは■■

① フィルターに付着したゴミを、電動モータで払い落とす装置です。
フィルターにゴミが付着すると吸引能力が低下します。掃除終了後は、必ずちりおとしをしてください。

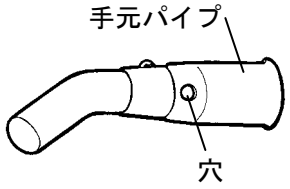
② フィンガーマークスイッチを、ちりおとしランプ(緑色)が点灯するまで押すと、30秒間ちりおとしをします。

③ ちりおとし作業開始から30秒後に、自動的にちりおとし装置が停止し、ちりおとしランプが消灯します。

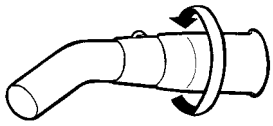
**注記**
①ちりおとし作業中に電源プラグを抜くと、ちりおとし装置が途中で止まってしまいます。
ちりおとしが終わって、ちりおとしランプが消灯してから、電源プラグを抜いてください。
②電源が接続されていない（電源プラグがコンセントに差込まれていない）ときは、ちりおとし装置は作動しません。
③吸引中は、ちりおとしスイッチは作動しない構造になっています。

# 6. 風量調節リング

① 水槽などの水や油類を吸わせるときは、ホースの手元パイプにある風量調節リングを回して、穴が開いた状態でご使用ください。




② 液体以外の通常の掃除にご使用のときは、手元パイプの風量調節リング下の穴がふさがった状態でご使用ください。



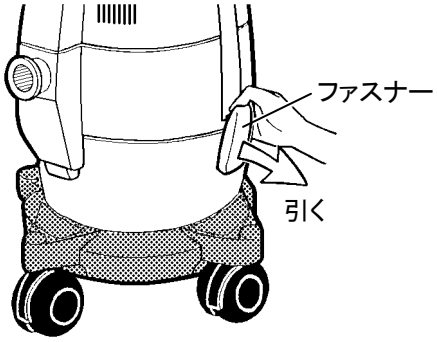
| 注記 | 水や油類が吸引できるのは、ＳＱ−Ｋ101Ａだけです。 |
|---|---|

# 7. タンクの着脱方法

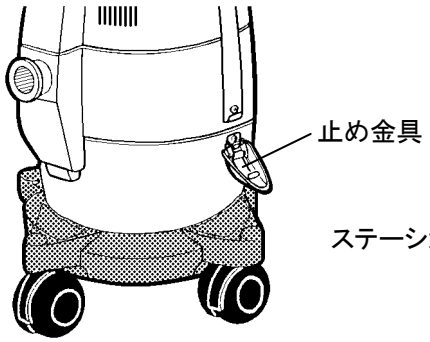
タンクの着脱は、２か所のファスナーで行います。

## (1)タンクを外すとき

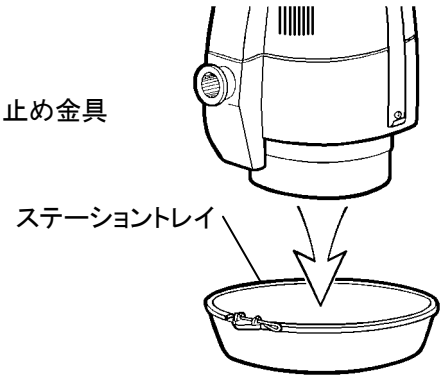
① ファスナー上部に指をかけて下に引きます。




② 止め金具を外します。

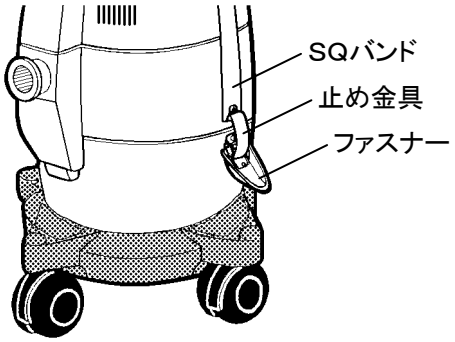



③ ステーショントレイの上にクリーナー本体上部を置くと、床を汚しません。

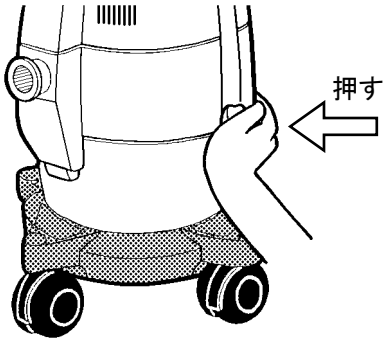



## (2)タンクをセットするとき

① ファスナー内部の止め金具を、クリーナーのＳＱバンド下端に引っかけます。




② ファスナーのカバー部をかぶせて手のひらで押します。



# 8. タンク用ポリ袋の装着とゴミ処理

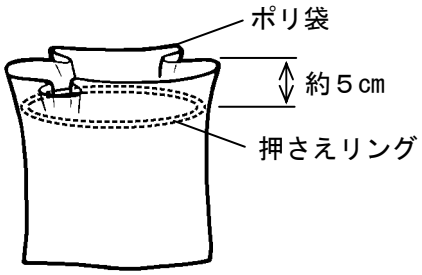
## (1)ゴミ処理がポリ袋で簡単にできます。

タンク内にゴミ処理用のポリ袋をセットできるので、たまったゴミを袋ごと捨てることができて、とても便利です。ポリ袋は、折寸法で、口幅440×深さ400×厚さ0. 05mm以上のものなら、市販品も利用できます。

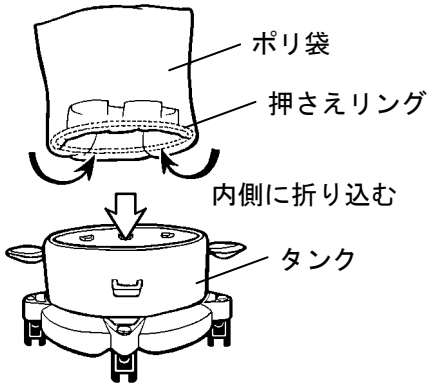
## (2)タンクへのセット方法

ポリ袋のセット方法は、クリーナーからタンク部を外して、次の手順で行います。

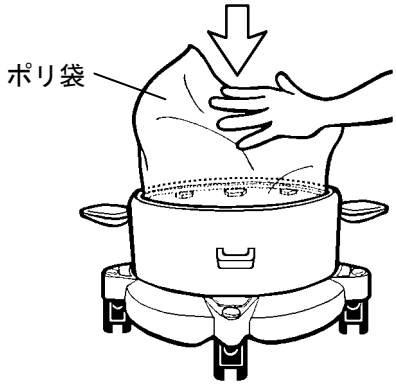
① 付属の押さえリングをポリ袋内に入れて、ポリ袋の先端が押さえリングが５ｃｍ位出る位置にセットします。



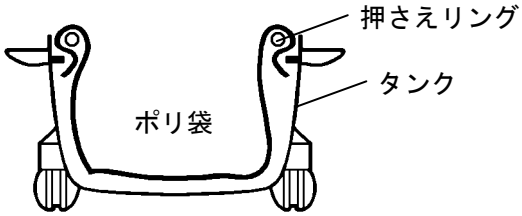

② 押さえリングを包み込むようにポリ袋内側に折り込み、その状態のまま袋を逆さ向きにしてタンクにセットします。




③ タンクから出ているポリ袋をゆっくり押さえてタンク内に入れます。



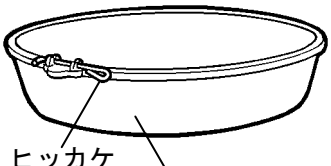

④ ポリ袋が図のようにタンク内に入ります。
タンクにクリーナー上部を載せてセット完了です。

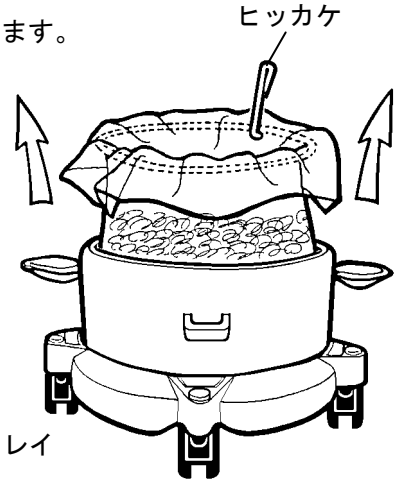



## (3)ポリ袋のゴミの捨て方

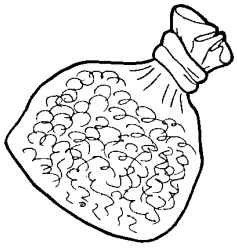
① タンク内のポリ袋を取出します。

※ステーショントレイからヒッカケを外し、押さえリングを引っ掛けると、手を汚さずにポリ袋を取出せます。




② 押さえリングを外し、ポリ袋の口を縛ります。



③ ポリ袋ごとゴミを捨てます。
産業廃棄物などは、条例などの規定に則って処理してください。

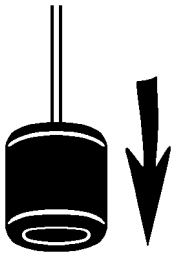
# 9. フロートの調整（SQ-K101A 専用部品）

① タンク内に一定以上の液体がたまると、オーバーフローを防止するためにフロートが上がり、吸引機能を停止します。

② このとき、モータは回転していませんが、通電していますので、フィンガーマークスイッチを操作して電源を切ってください。

③ タンク内の液体を捨ててタンク内を空にすると、再び吸引できるようになります。

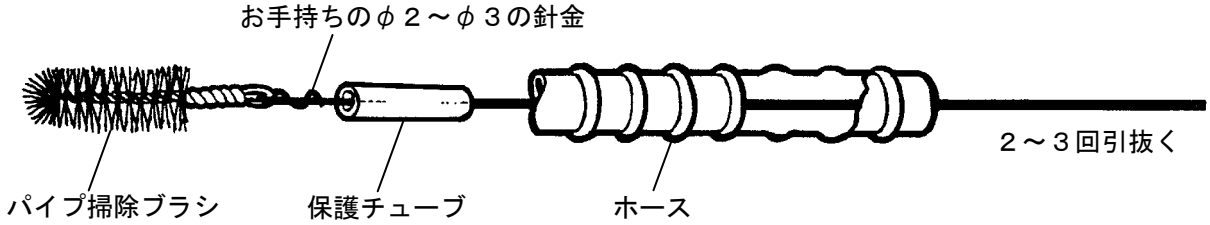
④ もし、タンク内の液体を処理した後も吸引しない場合は、フロートが引っ掛かっていることが考えられますので、フロートを引き降ろしてからご使用ください。



フロート

# 10. パイプとホースの清掃

パイプやホース内側に吸引物が付着してコレステロールのようにたまると、吸引能力が著しく低下します。
付属のパイプ掃除ブラシを利用して、パイプやホース内部の清掃を定期的にしてください。
下図のようにお手持ちの針金（φ２～φ３程度）を利用して清掃します。
パイプ掃除ブラシは、洗い油で洗えば、何回でも使用できます。




# 11. フィルターの保守

| 注記 | ①フィルターが濡れているときや、湿っているときは、ゴミを吸わせないでください。<br>※フィルター表面にゴミが付着して、吸引能力が大幅に低下する場合があります。<br>②フィルターの着脱方法は、11ページ「フィルターのメンテナンス」の項をご参照ください。 |
|---|---|

## 主フィルターと補助フィルターの2段階フィルターです。

### (1)フィルターが湿ったとき

フィルターが湿っているときは、排気口から水滴（油滴）が霧状態で出る場合があります。そのときは、次のような処置をしてください。

●水滴が出たとき……何も吸引させないで数分間のカラ運転を行ってフィルターを乾燥させてください。

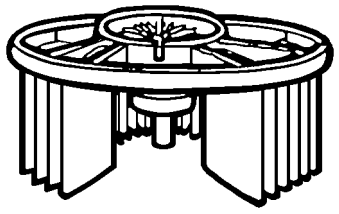
●油滴が出たとき……フィルターを取外し、洗い油などで洗った後、シンナー液で再度洗浄してください。
洗浄後、充分乾燥させてから、クリーナーに装着してください。

### (2)フィルターは、水洗いができます。

フィルターは水洗いできますから、目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取外して歯ブラシなどでフィルター表面に付着したゴミや汚れを取除いた後、水洗いをしてください。

水洗いをした後、クリーナーに再び取付けてから数分間のカラ運転をすると、フィルターが乾き、使用可能な状態になります。

フィルター



# ●主フィルターの交換方法

① クリーナー上部からタンクを外します。

② SQバンドを外します。
Ｍ４ネジ（２本）をドライバーで外すと、
ＳＱバンドが外れます。

③ グリップを持って少し引っ張ると、フィルター受けからＳＱ-⑤が離れます。

> 注記 フィルター受けとＳＱ-⑤は、ちりおとしモータのリード線とつながっています。強く引っ張ると断線しますのでご注意ください。

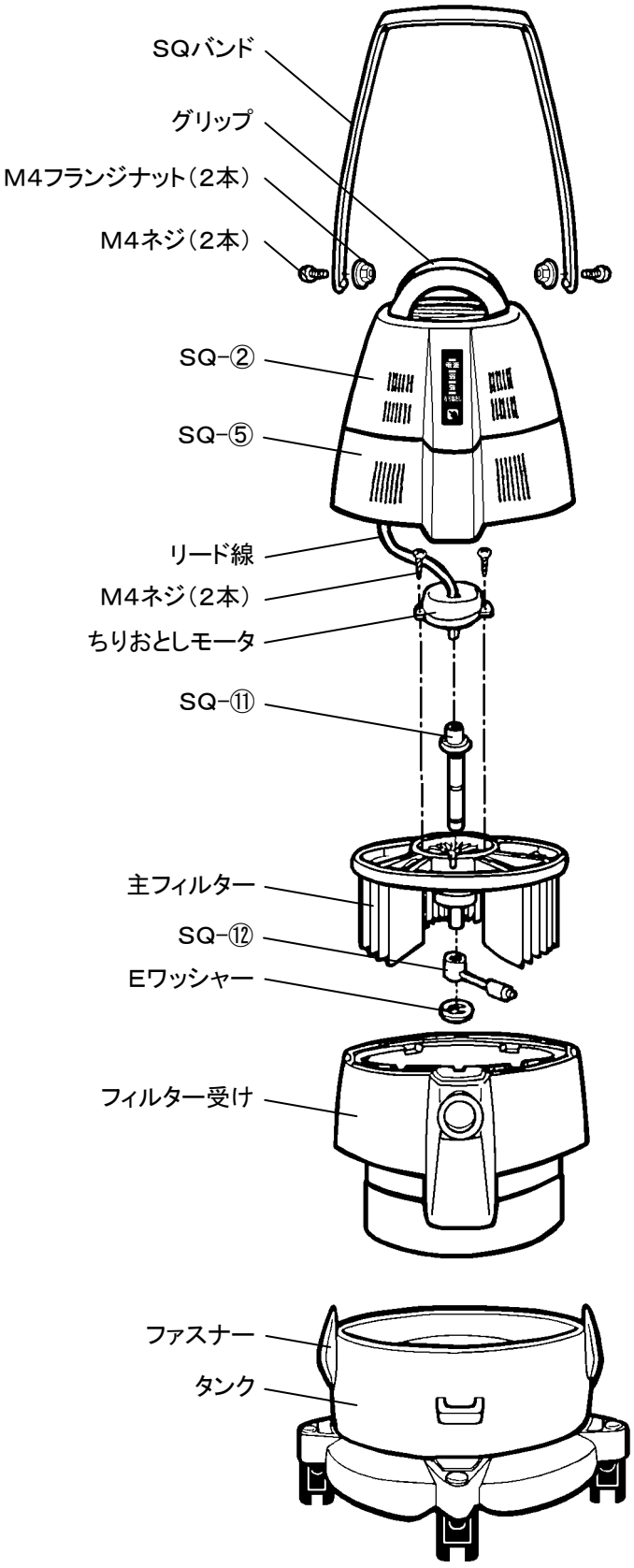
④ ちりおとしモータを主フィルターから取外します。
ちりおとしモータを固定しているＭ４ネジ（２本）をドライバーで外すと、ちりおとしモータが外れます。

⑤ フィルター受けから主フィルターを外します。

⑥ 主フィルターから、ＳＱ-⑪とＳＱ-⑫を外します。
ＳＱ-⑪は、主フィルターの中心部を通り、ＥワッシャーでＳＱ-⑫に固定していますので、Ｅワッシャーを外すと簡単に外れます。

⑦ 新しい主フィルターに、ＳＱ-⑪とＳＱ-⑫を組付けます。
ＳＱ-⑫の上下方向にご注意ください。

⑧ ①～⑥の手順と逆に部品を組込めば完了です。



# 12. 上手なご使用方法

注記 ①吸引する粉体の種類によって、直管パイプ、手元パイプ、ホースに静電気が発生することがありますが、漏電ではありません。対策としてゴム手袋をご使用いただくか、別売品の静電防止バンドをご利用ください。
②補助フィルターの目詰まりがひどに場合は、補助フィルターをクリーナーから取外して水洗いしてください。補助フィルターは、充分に乾かしてから、元に位置に取付けてください。

## ≪SQ-K１０１A≫

**⚠ 注 意**

補助フィルターを取外した状態では、液体の吸引は絶対にしない。
＊故障や排気口からの液体噴出などを原因とする事故の原因になります。

## ★粉体または液体の専用機としての使用が効率的です。

SQ-K101Aは、粉体と液体の両方を連続して吸引できる≪万能型≫ですが、複数台数を使用する場合は、粉体専用機または液体専用機として使い分けた方が、より吸引能力を効率的に発揮できます。

### ≪液体専用機≫として使用する

●出荷状態（万能型の使用状態）でご使用ください。

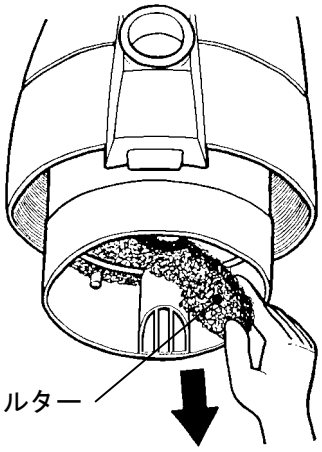
### ≪粉体専用機≫として使用する

●補助フィルターを取外して使用すると、より効率的な吸引効果が期待できます。
●補助フィルターは、補助フィルターを破らないように注意して、右図の矢印の方向に引っ張ると取外せます。

### ≪万能型≫として使用する

●必ず補助フィルターを元の位置に取付けてからご使用ください。

補助フィルターを破らないように注意して、フィルターガードの中で、補助フィルターを手繰るようにして引抜いてください。



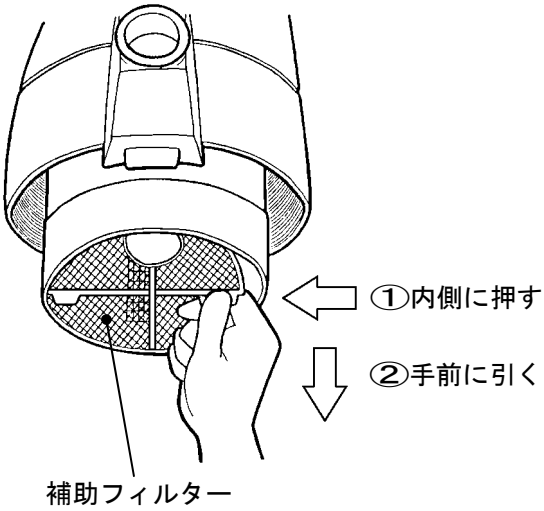

## ≪SQ-K１０１SC≫

●SQ-K101SCは、粉じん専用機です。
液体の吸引はできません。

●主フィルターと補助フィルターの２段階フィルターです。
通常の掃除では、補助フィルターは外さずにご使用ください。
ただし、ゴミの種類により、主フィルターと補助フィルターの間の目詰まりがひどい場合に限り、補助フィルターを取外してご使用ください。

例）補助フィルターに粗いゴミおよび綿などが付着し、主フィルターに比較的小さな粉じんが付着する場合など。

●補助フィルターを外すときは、右図のように、
①内側に押して
②手前に引っ張ってください。



# 5 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、下記項目の点検を行い、不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。
部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

| 点検項目 | 処置 |
|---|---|
| 電源コードは傷んだり、変形していませんか？ | 新しい電源コードに交換が必要です。 |
| 差込みプラグに変形やガタはありませんか？ | 新しい電源コードに交換が必要です。 |
| アースクリップは、ガタなどがなく正常に機能していますか？ | 新しい電源コードに交換が必要です。 |
| ホースは変形したり破れていませんか？ | 新しいホースに交換が必要です。 |
| ホース・直管パイプにゴミが詰まっていませんか？ | ゴミを取除いてください。 |
| フィルターは正しくセットされていますか？ | 正しくセットしてください。 |
| フィルターが破れていませんか？ | 新しいフィルターに交換してください。 |
| フィルターが目詰まりしていませんか？ | フィルターを掃除してください。 |
| フロートは、正しくセットされていますか？（ＳＱ−Ｋ101Ａ専用部品） | フロートを正しくセットしてください。 |
| ファスナーは変形していませんか？ | 交換が必要です。 |
| ファスナーは正しくセットしていますか？ | 正しくセットしてください。 |
| 本体上部は正しく装着していますか？ | 正しく装着してください。 |
| タンクは変形していませんか？ | 新しいタンクに交換が必要です。 |
| タンク内にゴミや液体がたまっていませんか？ | ゴミや液体を処理してください。 |
| キャスターが磨耗したり変形していませんか？ | 新しいキャスターに交換が必要です。 |
| 各部のボルト、ナットはゆるんでいませんか？ | 増し締めしてください。 |
| モータ回転音に異常はありませんか？ | 販売店または最寄りの当社支店・営業所に、点検をご依頼ください。 |
| 変な音や、臭いがしませんか？ | 販売店に点検をご依頼ください。 |

# 6 こんなときは（故障かな？と思ったら）

故障かな？と思ったときは、まず下記項目をご確認ください。

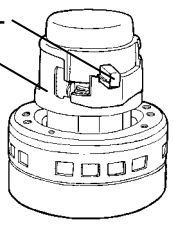
| 症　状 | 調べるところ | 直し方 |
|---|---|---|
| •モータが回転しない。 | 電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？ | 電源プラグをコンセントに差込み直します。 |
| •吸引しない。<br>•発生音が高くなった。 | ゴミや液体がタンク一杯になっていませんか？ | タンク内のゴミや液体を処理してください。 |
| | モータのカーボンブラシが減っていませんか？ | カーボンブラシの交換が必要です。（下記参照） |
| | ホースや吸込口にゴミが詰まっていませんか？ | ゴミを取除いてください。 |
| •吸引力が急に弱くなった。 | ホースや吸込口にゴミが詰まっていませんか？ | ゴミを取除いてください。 |
| | ホースやパイプが破れていませんか？ | ホースやパイプは消耗品です。<br>新しいものと交換してください。 |
| | 本体上部とタンクは完全に固定していますか？隙間ができていませんか？ | 本体上部とタンクを正しく合わせて、ファスナーで確実に固定してください。 |
| | 主フィルターが目詰まりしていませんか？ | ①ちりおとしをしてください。<br>②汚れがひどい場合は、フィルターを水洗いしてください。（9～11ページ参照） |
| | 補助フィルターが目詰まりしていませんか？ | 補助フィルターを外して、水洗いしてください。（11ページ参照） |
| | 主フィルターと補助フィルターの間にゴミ（粉じん・綿ぼこりなど）がたまっていませんか？ | 補助フィルターを外して、ゴミを取除いてください。主フィルター・補助フィルターの汚れ・目詰まりがひどい場合は、水洗いをしてください。（9～11ページ参照） |
| | モータが異常回転していませんか？ | 修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。 |

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしないでください。
※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

## 《ご参考》モータのブラシ（カーボンブラシ）交換方法＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

| ⚠ 注　意 |
|---|
| 修理技術者以外の人は、分解や修理を絶対にしない。<br>＊発火したり異常動作をすることがあります。 |

| 注記 | |
|---|---|
| | ①モータのブラシ交換は、電気器具の修理技術のある人が行ってください。<br>②ブラシ交換後に試運転を行い、ローターとブラシの接点から大きな火花が出ているときは、モータの寿命ですから、モータを交換してください。 |




本機のモータは、整流子モータを採用しています。
モータのブラシの磨耗により吸引力が弱まった場合は、新しいブラシと交換してください。
本機の使用方法などにより多少の差は生じますが、使用 500 時間程度がブラシ交換の目安です。
新品ブラシの長さは 31.5mmです。残り 9～10mmまで磨耗したら新しいブラシと交換してください。
ブラシは、モータのファンカバーおよびブラシホルダーを外さなくても交換できます。

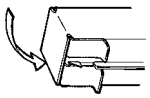
① ブラシホルダーのフタを起こします。

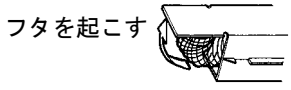
② 起こしたフタに溶接している銅線を根元から切断し、磨耗したブラシを取り去ります。
（注）フタは切り落とさないでください。

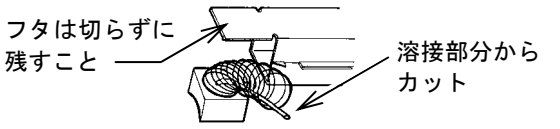
③ 新しいブラシをブラシホルダーに挿入します。
トッププレートの端子部分は、切断してください。

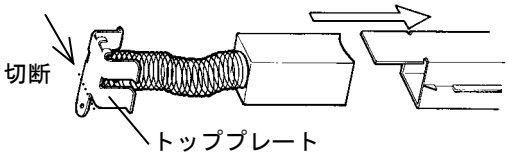
④ ブラシのトッププレートをブラシホルダーのフタで押さえて固定します。

≪完成図≫





## ●危険防止のための注意事項

- ❖ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ❖ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ❖ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ❖ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。

### （1）主な爆発性ガスの種類

| 爆発等級 | 発火度 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | G１ | G２ | G３ | G４ | G５ | G６ |
| 1 | アセトン、トルエン<br>アンモニア、プロパン<br>一酸化炭素、ベンゼン<br>エタン、メタノール、酢酸<br>メタン、酢酸エチル | エタノール<br>酢酸イソアミル<br>１−ブタノール<br>ブタン<br>無水酢酸 | ガソリン<br>ヘキサン | アセトアルデヒド<br>エチルエーテル | | 亜硝酸エチル |
| 2 | 石炭ガス | エチレン<br>エチレンオキシド | イソプレン | | | |
| 3 | 水性ガス<br>水素 | アセチレン | | | 二硫化炭素 | 硝酸エチル |

### （2）主な爆発性および可燃性粉じんの種類

| 爆発性粉じん | 可燃性粉じん | |
|---|---|---|
| | 導電性のもの | 非導電性のもの |
| マグネシウム、アルミニウム<br>アルミニウムブロンズ<br>アルミニウム（含脂） | 亜鉛、チタン、コークス<br>カーボンブラック、鉄<br>石炭 | 小麦粉、とうもろこし、砂糖<br>ゴム、染料、ポリエチレン<br>フェノール樹脂、ココア<br>リグニン、米ぬか、硫黄 |

## ●静電気の発生とその防止について

- ❖ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電気的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ❖ クリーナーや集じん機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触・摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー・集じん機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ❖ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ❖ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続していただくと同時に、フィルターは帯電防止用フィルターをご使用ください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ❖ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ❖ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。
  表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。
  ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したものほど帯電は少なくなります。

### （3）帯電序列の例

| 金属 | 繊維 | 天然物質 | 合成樹脂 |
|---|---|---|---|
| （＋） | （＋） | （＋） | （＋） |
| 鉛 | 羊毛 | アスベスト | エポナイト |
| 亜鉛 | ナイロン | 人毛・毛皮 | ポリスチレン |
| アルミニウム | レーヨン | ガラス | ポリプロピレン |
| クローム | 絹 | 雲母 | ポリエチレン |
| 鉄 | 木綿 | 木材 | 塩化ビニル |
| 銅 | 麻 | 人の皮膚 | ポリテトラフロロエチレン |
| ニッケル | ガラス繊維 | 紙 | |
| 金 | アセテート | ゴム | |
| 白金 | ビニロン | セルロイド | |
| | ポリエステル | セロファン | |
| | アクリル | | |
| | ポリ塩化ビニリテン | | |
| （−） | （−） | （−） | （−） |

# 7 アフターサービスと保証について

## ⚠ 注 意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

### ●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後６年です。

### ●保証について

この製品の保証期間は納入日より１年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

| | |
|---|---|
| 無償保証 | 取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。<br>ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。<br>また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。 |

## ⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。　お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

**愛情点検**

**★長年ご使用のクリーナーの点検を！**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **このような症状はありませんか？** | ●スイッチを入れても時々運転しないことがある。<br>●運転中に異常な音や振動がある。<br>●本体が変形していたり、異常に熱い。<br>●焦げ臭い“におい”がする。<br>●その他の異常がある。 | ▶ **お願い**<br>**異常があればご使用を即、中止!!** | このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。 |

### アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、または当社支店・営業所へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

| | |
|---|---|
| 店　名 | |
| 所在地 | |
| ＴＥＬ | |
| ＦＡＸ | |
| お買い上げ年月日 | 年　月　日 |


株式会社スイデン
奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘 3-26
ホームページ　http://www.suiden.com


スイデン商品についてのお問い合わせは、最寄りのスイデン支店・営業所へどうぞ！

| | |
|---|---|
| 東京支店 | ☎(03)3625-9003 |
| 大阪支店 | ☎(06)6772-2241 |
| 名古屋支店 | ☎(052)882-3621 |
| 福岡支店 | ☎(092)471-6201 |
| 仙台営業所 | ☎(022)288-4777 |
| 北関東営業所 | ☎(0277)76-1805 |
| 静岡営業所 | ☎(054)237-5172 |
| 富山営業所 | ☎(076)407-1801 |
| 広島営業所 | ☎(082)292-6311 |
| 高松営業所 | ☎(087)843-4896 |
| お客様相談室 | 0120-285-240 |

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。